

## 1 基本方針

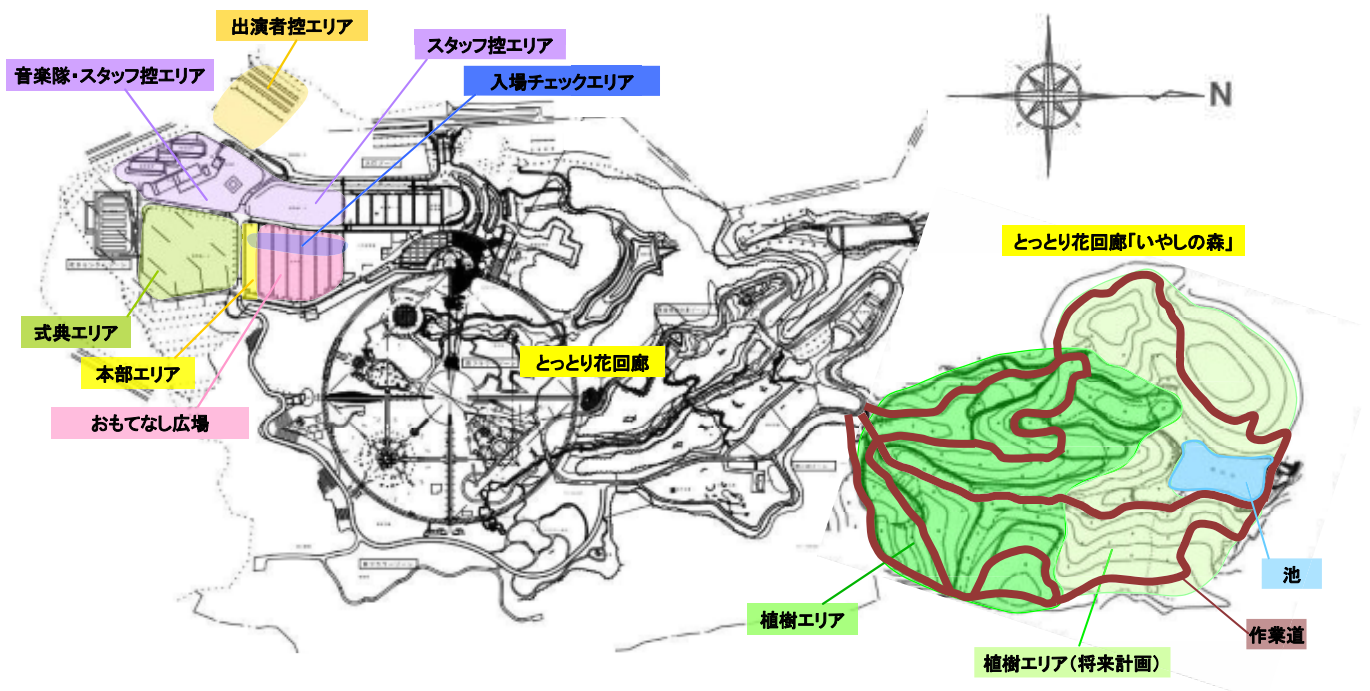
- 第64回全国植樹祭の開催理念や健全な生態系の維持などを様々な視点から検討し、樹木の伐採、土地の掘削・造成など、自然環境に負担をかけないように、今の地形を有効に活用し、経費の節減を図りながら整備します。
- 出来るだけ跡地利用も考慮に入れた整備を検討します。
- 全参加者が、安全で使い易い快適なデザインとします。
- 仮設物等の整備は、県産材をふんだんに使用し、木の香る会場づくりとします。



(第60回全国植樹祭／H21年 福井県)

## 2 施設配置計画

### (1) 会場周辺状況



(2) 式典会場イメージ図



※最終差し替え予定

### 3 主要施設計画

#### (1) お野立所

○お野立所は、県産材を使用し、周辺の景観と調和したものとします。また、建築にあたっては安全性や風対策に十分配慮するとともに、構造や施工方法については経済性を重視します。

○天皇皇后両陛下の御歩道はウッドチップにて仮舗装します。

○終了後の有効利用を検討します。

#### (2) 仮設工作物

○仮設構造物は、県産材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

○背景にある大山が良く見えるように、構造物の高さと配置を工夫するとともに、鳥取の木の文化をできるだけ取り込んだ仮設物を設置します。

○やむを得ず造成する場合は、必要最小限にとどめるよう配慮します。

#### (3) 木製品

○ベンチ、プランター等の木製品には、間伐材などの県産木材を使用します。

##### 〔ベンチ例〕

##### 【無垢】



砂丘の風紋をイメージした「うづくり(浮造り)」で表面を仕上げ、スギの模様の良さが自然の風景に映える鳥取らしいデザイン。

##### 【LVL】



斬新で完成された夏向きの涼しげなデザインで、LVLのシャープな切り口がデザインの一部として生かされている。

##### 【Jパネル】



普及性を考え低価格を実現しながら、安全性にも配慮し、コンパクトで椅子らしいシンプルなデザイン。



## 4 サイン計画

○参加者が安全かつスムーズに植樹行事、式典に参加することができ、移動に支障がないように分かりやすい案内サインを設置します。

○サイン・展示には、県産材を活用するなど、環境に配慮した資材を使用します。

○「鳥取の歴史・カラー」を表現したテーマカラーで統一したデザインを施します。

- ・鳥取らしさのデザインキーワード: 弥生／鳥／花々／木の文化
- ・弥生時代の人々が愛した色、弥生時代の身近な風景の色をテーマカラーと設定します。

① 藍色



② 茜色



③ 緑色



〔サイン・展示箇所及び内容〕

設置区域	サイン種別	内 容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称
	誘導	招待者等を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項等を参加者動線上に設置
式典会場	座席表示	中央特別招待者は、各席に座席表を貼付 特別招待者入口に座席配置表を設置 一般招待者席は、バス号車単位で座席を表示
	会場位置	主要エリアごとに会場内の現在位置を表示
植樹会場	植樹地誘導	バス号車ごとに決められた展示ブロックへ誘導するサインを参加者動線上に設置
	植樹位置	バス号車単位に決められた植樹ブロックを表示
	式典会場誘導	植樹終了後、式典会場へ誘導するサインを参加者動線上に設置
輸送バス	バス号車	添乗員が参加者を誘導する際に使用するプラカード

## 5 飾花計画

○会場周辺の飾花は、県内高校生が育成した花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、参加者の安全かつ円滑な動線が確保できるように配置します。

○お野立所まわりは、とっとり花回廊のメインフラワーである「ユリ」や姉妹公園であるオランダのキューケンホフ公園との交流の証となる「チューリップ」で飾花します。

○お手植え会場及び式典会場内に設置するプランターに関しては、間伐材などの県産木材を使用します。

○鳥取県をはじめ、関係市町村、関係団体、県民が一体となり、花飾りや美化に努めます。

〔飾花箇所及び内容〕

設置区域	内 容
お手植え会場 式典会場	各エリアの動線や区分を行うとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう、プランター等を設置します。
植樹会場	広大な敷地に対して、各エリアの植樹区分が分かりやすくなるよう配置します。
式典会場と植樹会場の 連絡道路	招待者の安全で円滑な誘導が出来るよう、プランターを配置します。
アクセス道路	県及び関係各者が一体となり、飾花を行います。



## 6 電気・給排水・通信設備計画

### (1) 電気設備計画

○会場内で使用する電源は商用電源を引き込む他、仮設電源(ジェネレーター等)で対応します。

### (2) 給排水計画

○水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理をします。

### (3) 仮設トイレ計画

○植樹会場、サービス広場などに適正な数量を配置します。また、衛生面にも十分配慮します。

### (4) 通信設備計画

○運営を円滑にするため、実施本部等に臨時電話を設置するほか、携帯電話、トランシーバー等の無線通信機器を適正に配置します。

## 1 基本方針

- 第64回全国植樹祭への参加者を「おもてなしの心でお出迎え」し、開催意義や理念を伝える機会とします。
- 全国植樹祭の運営には、市町村、林業関係団体、NPO法人及び各種ボランティア団体などの協力が必要不可欠であることから、実施については各団体の意向を踏まえ、しっかりと連携します。
- 「おもてなしの心でのお出迎え」は、観光関係者等と協力します。
- 参加者が安全・快適・清潔に過ごせるよう会場運営を行います。

## 2 招待計画

### (1) 招待計画による招待者区分

- 招待者は「県外招待者」と「県内招待者」に区分します。
- 「県外招待者」は、公益社団法人国土緑化推進機構理事長と鳥取県知事との協議によって定める者、及び各都道府県知事の推薦による者とし、公益社団法人国土緑化推進機構会長と知事の連名で招待します。
- 「県内招待者」は、実行委員会会長の推薦による者、県内各市町村長の推薦による者、県民公募により選定する者とし、知事が招待します。

参加者区分		人数
県外招待者	・公益社団法人国土緑化推進機構理事長と鳥取県知事との協議により定める者 ・各都道府県知事の推薦する者	1,500人
県内招待者	・第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会会長の推薦する者 ・鳥取県の市町村長が推薦する者 ・公募による一般県民	3,500人
小計		5,000人
本部員・協力員	・実施本部員、協力員、出演者、ボランティア	2,000人
合計		7,000人

(2) 運営上による参加者区分

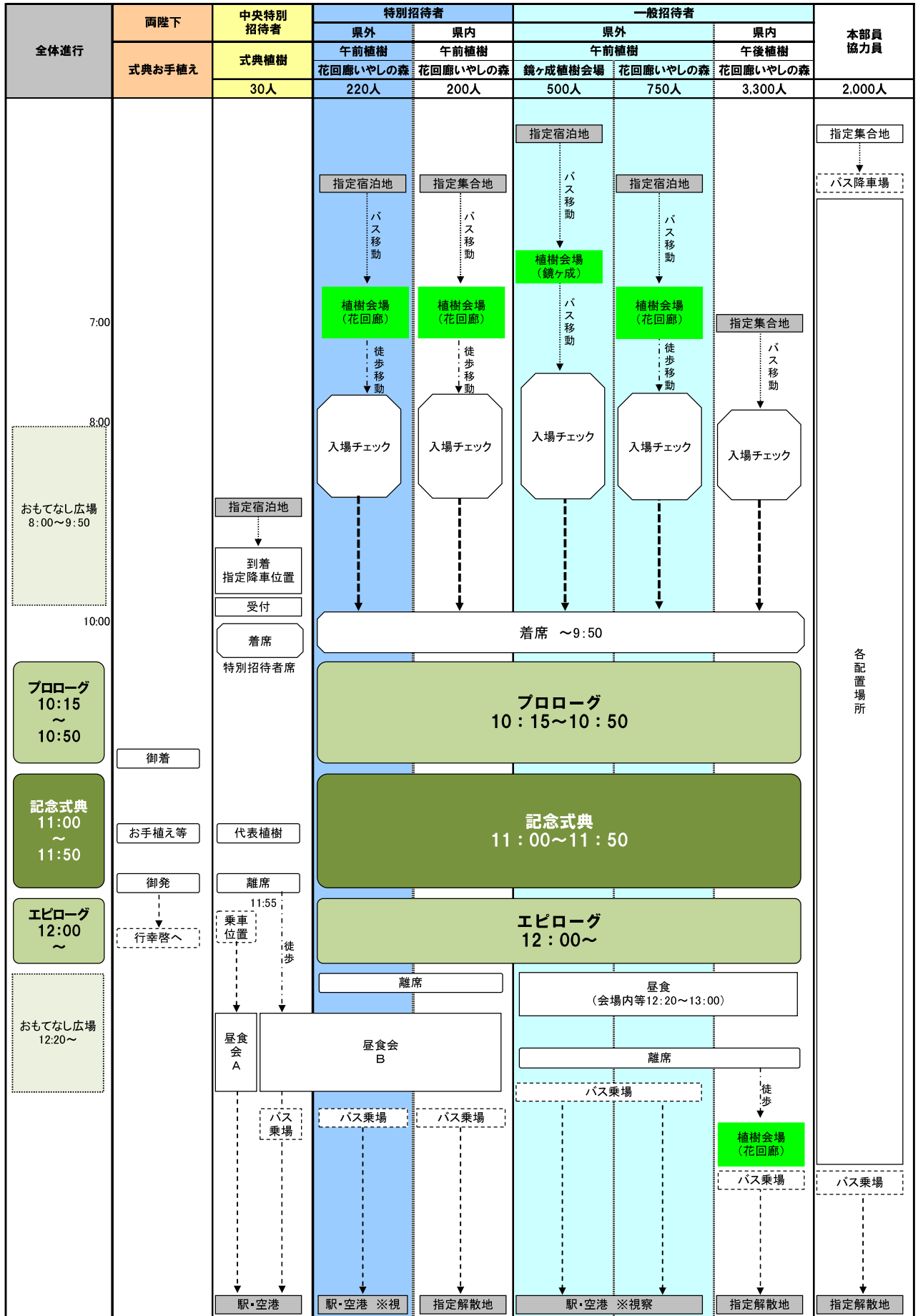
○運営上の参加者区分は下記の通りとします。

区 分		人数	備 考
中央特別招待者①		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、林野庁長官、鳥取県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催市町長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長 等
特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小 計②	420人	
一般招待者	県外一般招待者	1,250人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	3,300人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民等
	小 計③	4,550人	
招待者小計(①+②+③)		5,000人	
本部員・協力員④		2,000人	実施本部員、協力員、出演者、ボランティア
合計(①+②+③+④)		7,000人	

(3) 輸送及び植樹時間による招待者区分

移動方法	植樹時間	区 分	人 数
乗用車	式典中に植樹	中央特別招待者	30人
バス	式典前に植樹	県外特別招待者、県外一般招待者	1,470人
バス	式典前に植樹	県内特別招待者	200人
バス	式典後に植樹	県内一般招待者	3,300人

3 参加者行動計画





## 4 受付計画

### (1) 全国植樹祭招待者受付

- 前日に宿泊する招待者は、宿舎到着時と当日バス乗車時に受付及びチェックを行います。
- 宿泊しない招待者は、当日バス乗車時に受付を行います。

#### ① 前日受付

- ・宿泊する中央特別招待者、特別招待者、県外一般招待者については、1回目の受付を行います。
- ・2回目は、全国植樹祭当日、バス等に乗る前に行います。

区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者	宿舎	宿舎到着時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルームキー配布</li> <li>・記念品・大会用品の配布</li> <li>・宿泊に関する説明</li> <li>・レセプション参加の説明</li> </ul>
特別招待者 県外一般招待者		宿舎到着時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内状確認～名簿照会</li> <li>・ルームキー配布</li> <li>・記念品・大会用品の配布</li> <li>・宿泊に関する説明</li> <li>・翌日集合時間、場所等の説明</li> <li>・レセプション参加者には、集合時間、場所等の説明を行う。</li> </ul>

#### ② 当日受付

- ・全国植樹祭当日の受付は、宿舎や指定集合地で、バス等に乗車する前に行います。

区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者 (宿泊)	会場受付	会場到着時	受付名簿確認後、胸章を接伴員に渡す。
特別招待者 県外一般招待者 (宿泊)	宿舎バス乗場	宿舎出発前	バス乗車時、名簿を確認する。 IDカードを付けるよう案内する。
県内特別招待者 県内一般招待者 (宿泊なし)	指定集合地	バス乗車時	バス乗車時、名簿を確認する。 大会用品、IDカードを渡す。 県内特別招待者には胸章を渡す。

- ・式典会場入場時、入場チェックを行います。

区分	チェック場所	チェック時間	チェック内容
中央特別招待者 以外の招待者	式典会場入口	入場前	IDカード、危険物のチェック

## (2)レセプション受付

- ・前日に開催されるレセプションの受付は、下記により行います。

区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者 特別招待者	会場入口	会場入場前	名簿の確認、会場案内

※入場者のチェックも行います。

## (3)招待者に配布する記念品等

- ・全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、鳥取県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に発信するため、記念品等を配布します。
- ・記念品の選定にあたっては、県産品の活用を図るとともに、遠方からの参加者の持ち帰りやすさに配慮します。
- ・式典の円滑な運営のためにIDカードや帽子等を配布します。

## 〔主な配布物〕

- ・全国植樹祭プログラム
- ・IDカード(識別証)
- ・帽子(参加者区分)
- ・記念品(特産品等) 等

## 5 特別接待・接遇計画

### (1) 中央特別招待者対応

- 中央特別招待者には実施本部員(中央特別参加者接遇班)が専属対応を行います。
- 前日は、出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、誘導、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、昼食案内、見送りまで常時サポートします。
- 移動には原則として乗用車(借上車)を使用します。
- 中央特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制にします。

### (2) 特別招待者対応

- 移動には原則としてバスを使用することとします。
- 特別招待者用バスには1台当たり2名の実施本部員(特別招待者接遇班)が対応します。
- レセプションに参加する特別招待者については、出迎えからレセプション受付、会場内の案内、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、昼食案内、見送りまで常時サポートします。
- 特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制にします。

### (3) レセプション計画

- 天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第64回全国植樹祭の開催県として、招待者の来訪を歓迎懇親を深める場とします。

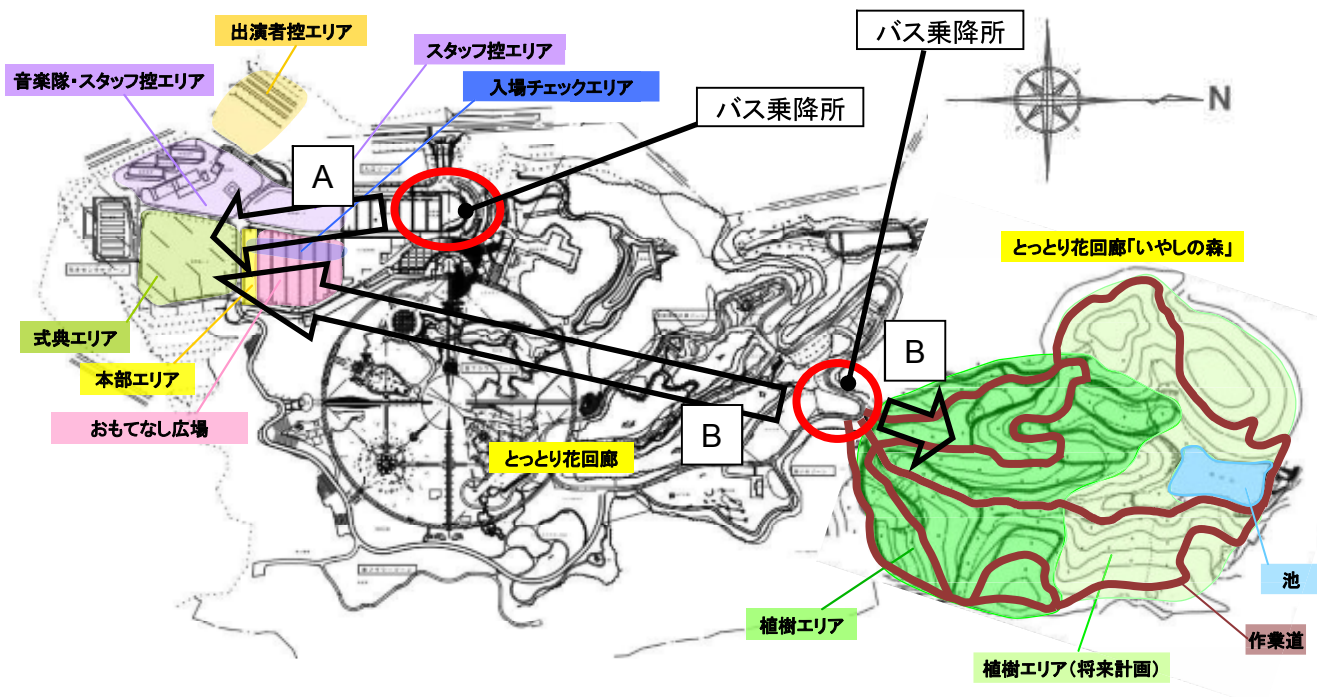
- 〔主 催〕 鳥取県
- 〔開催日時〕 全国植樹祭開催の前日 18:00～19:00 予定
- 〔会 場〕 両陛下の宿泊施設内
- 〔出席者〕 350名程度
  - ・中央特別招待者  
(国務大臣、次期開催県知事、開催市長、  
公益社団法人国土緑化推進機構理事長等)
  - ・県外特別招待者(緑化功労者、代表表彰者、県選出国会議員)
  - ・県内特別招待者(緑化功労者、県議会議員、市町村長、実行委員会委員等)

## 6 会場内動線計画

### (1) 午前

A(午後植樹): 植樹祭会場到着から式典会場まで

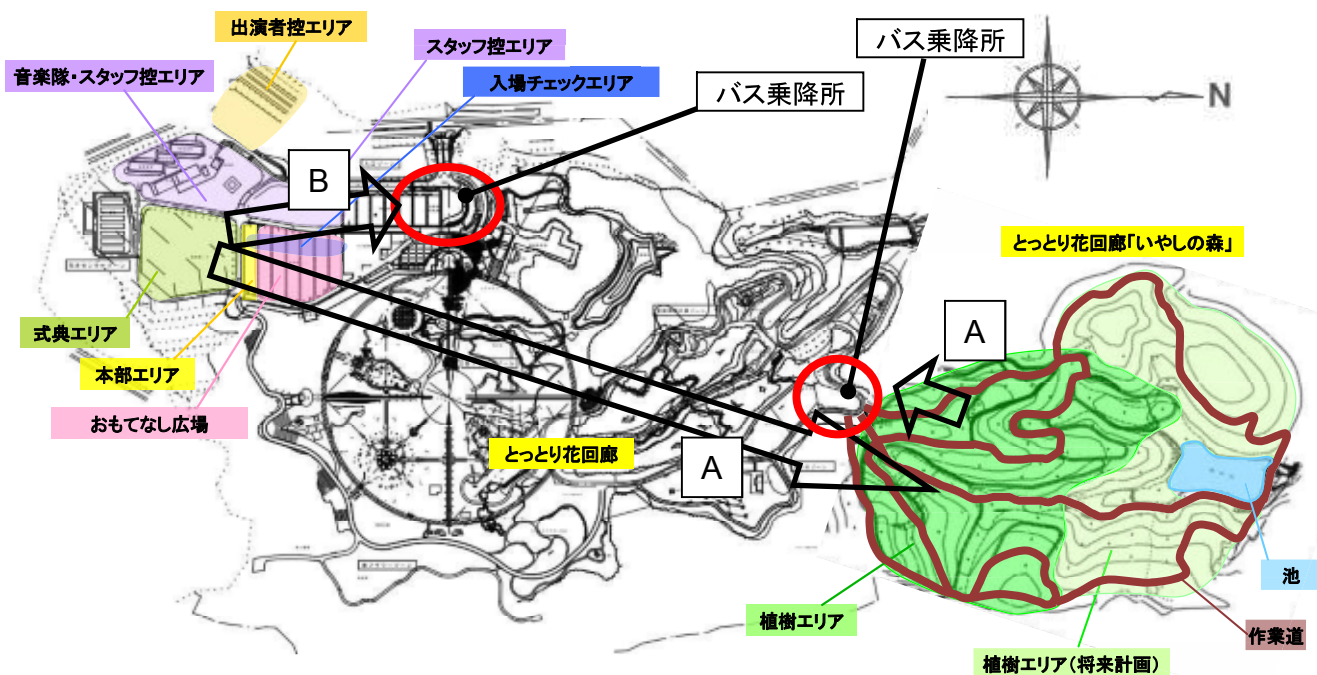
B(午前植樹): 植樹会場到着から植樹、その後式典会場へ



### (2) 午後

A(午後植樹): 式典会場から植樹会場へ

B(午前植樹): 式典会場から出発まで



※招待者動線に関しては今後の調整にて決定いたします。

## 7 会場おもてなし計画

- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が安心・安全・快適に利用できるよう、総合案内所や、湯茶接待所、救護所、仮設トイレなどを整備します。
- 鳥取県の森林づくり活動や観光、県産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売の専用ブースなどを関係団体の協力により運営します。
- 体験型のイベントを開催し、鳥取県の人々と県外からの来場者とのふれあいを創出します。
- おもてなしステージでは、鳥取県を代表する歌や踊りの賑やかな演目を実施します。
- 湯茶接待コーナーを「お招き茶屋」とネーミングし、鳥取のお菓子とお茶でおもてなしします。
- おもてなし広場の運営にあたっては、出展者等との協力により、廃棄物の減量化に取り組むとともに、飲食物の提供において環境に配慮した容器を使用する等、環境に優しい運営に努めます。
- 地域の観光ガイドや地元の大学生などのボランティアにも参加いただき、鳥取県らしい運営を行います。

区分	施設名	内容
式典会場 (おもてなし広場)	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待所(お招き茶屋)	参加者に湯茶、ミネラルウォーター、お菓子等を提供
	販売コーナー	鳥取県の特産品や飲食物等を販売
	展示コーナー	鳥取県の森林、林業、観光等について展示紹介
	臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩テント	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置

〔おもてなし広場施設例〕



販売コーナー



総合案内所



ドリンクコーナー



## 8 昼食計画

○昼食の食材に、県産食材、地元特産品等を使用し、広くPRに努めます。

○昼食の製造、輸送、保管、配布は、衛生・安全面に十分配慮します。

○納入業者の選定は、製造能力、運搬時間等を検討し、選択します。

### (1) 中央特別招待者、特別招待者

・中央特別招待者とその随行員は、指定場所での昼食会とします。

・特別招待者は、一部を除き、指定場所での昼食会とします。

### (2) 一般招待者

#### ○昼食場所

県外招待者は、式典会場内での昼食(弁当)とします。県内招待者は、式典会場内又はバス内での昼食(弁当)とします。

実施本部員・協力員等は原則として業務に従事する場所での昼食(弁当)とします。

#### ○弁当の内容等

鳥取県産食材を盛り込み、鳥取らしさを実感できる内容にします。弁当の輸送・保管・配布は、衛生・安全面に十分配慮し、保冷車で運搬します。

## 9 医療・衛生計画

### (1) 医療救護所の設置

○式典会場及び植樹会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。

○救護所には、医薬品や休憩用ベッド等を備えます。

○消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の輸送・受け入れ体制を整えます。

### (2) 衛生対策

○保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。

○食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。

○飲料等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、式典会場及び周辺環境美化に努めます。

### 10 消防・防災・警備計画

- 参加者の安全を確保し、安心して参加できるようにします。
- 消防防災部門と警備部門の連携を密にし、消防署、消防団、警察その他関係機関との協力体制を築きます。
- 特に危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成し研修を行います。

#### (1) 消防・防災

- 実施本部の消防防災班が中心となり、異常の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所以外はすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 情報の伝達は、混乱を生じさせないよう、参加者に対するルートと実施本部員・協力員等のルートに分けて適切に行い、参加者全員が安全に避難できる体制を整えます。
- 避難については、避難計画を策定し、実施本部員への周知徹底を図るとともに、避難訓練を行い非常時に備えます。

#### (2) 警 備

- 会場内での事件事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 当日は、警備員、会場警備班および協力員を配置して、警備や車両の整理、招待者の誘導を行います。
- 式典会場入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、植樹会場、駐車場等では、式典使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

## 11 実施本部計画

○全国植樹祭の円滑な運営を図るための実行組織として、「第64回全国植樹祭鳥取県実施本部(仮称)」を設置します。

○効率的な要員配置を行うとともに、ボランティア、開催町職員などの積極的な協力を得て、実施運営の円滑化、および参加者の安全性や快適性の確保に努めます。

[実施本部体制案]



## 12 研修リハーサル計画

○円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。

○効果的な研修、リハーサルを実施するため、事前に各班毎の運営マニュアルを作成します。

○リハーサル計画に基づき、実施本部全員が業務の内容を把握できるようにします。

### (1) 実施本部員等の研修計画

○実施本部員及び協力員への研修は、事前の資料配付、現地研修、リハーサルへの参加等により行います。

○協力員(関係市町村職員、ボランティア、関係団体の構成員等)の研修は、リハーサルへの参加により実施します。

### (2) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	人数	参加者	内容
①出演者説明会	3ヶ月前	未定		出演者代表	式典概要説明会
②合同説明会	開催 6～5週間前	式典会場 植樹会場 (花回廊)		本部員全員 出演者代表	式典全体の説明
③式典 リハーサル		式典会場		出演者(介添者) 本部員(関係班のみ)	式典部分リハーサル
④総合 リハーサル	開催 4～2週間前	式典会場 植樹会場		本部員全員 協力員(一部) 出演者全員	式典全部、通しリハーサル、車両、参加者誘導、接遇研修、非常時訓練他
⑤荒天会場 説明会		荒天会場		出演者(介添者) 本部員(関係班のみ)	会場確認及び説明
⑥前日 リハーサル	開催前日	式典会場 植樹会場		本部員全員 協力員全員 出演者全員	式典全部、通しリハーサル、車両、参加者誘導、非常時訓練他

※③式典リハーサルと④総合リハーサルは、2日連続での実施を検討します。

## 13 雨天時・強風時対応計画

○雨天時対応マニュアルを作成し、雨天時や強風時にも円滑な運営ができるようにします。

○晴天時の計画と同じ内容で行うことを基本に、必要な配慮・準備を行います。ただし、雨や風の程度に対応した変更プログラムを作成します。

○プロローグやエピローグは天候に応じ、各出演団体と協議の上、変更内容を決定します。

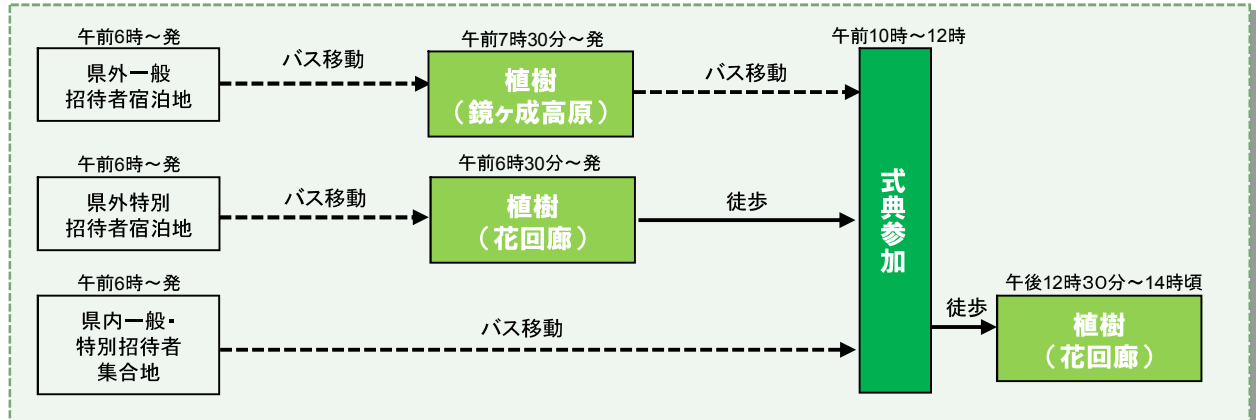
○式典音楽隊の音楽が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。

○会場警備上、傘の持ち込みができないため、参加者全員にレインコートを事前に配布します。

## 1 基本方針

- 式典前夜、宿泊参加者(主に県外招待者)は、原則として実行委員会が指定する、植樹会場もしくはその近隣の地域の施設に宿泊します。地域の方々には、食材や自然・文化・歴史などのふれあいが図られるよう、おもてなし体制を整えていただきます。
- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルート等を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- 式典当日、宿泊参加者は各宿泊施設から、当日参加者(主に県内招待者)は最寄りの集合地から、実行委員会が手配するバス等により会場へ移動します。
- 参加者等の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び交通規制などについては、関係者で綿密な検討を行い、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整えます。
- 会場の周辺およびアクセス道路沿線の安全を確保し、警備に万全を期します。
- 会場へのアクセス道路沿線では、地元市町村や関係者、地域住民の参加・協力を得て、美化等に努めるとともに、参加者を歓迎します。
- 県外招待者に対して、式典終了後の視察コースを設定し、鳥取県の森林・林業・木材産業や自然・文化・歴史に対する理解を深めていただき、観光振興も図られるよう取り組みます。

### 〔植樹祭当日の参加者スケジュール〕



※時間については、要調整。



## 2 宿泊計画

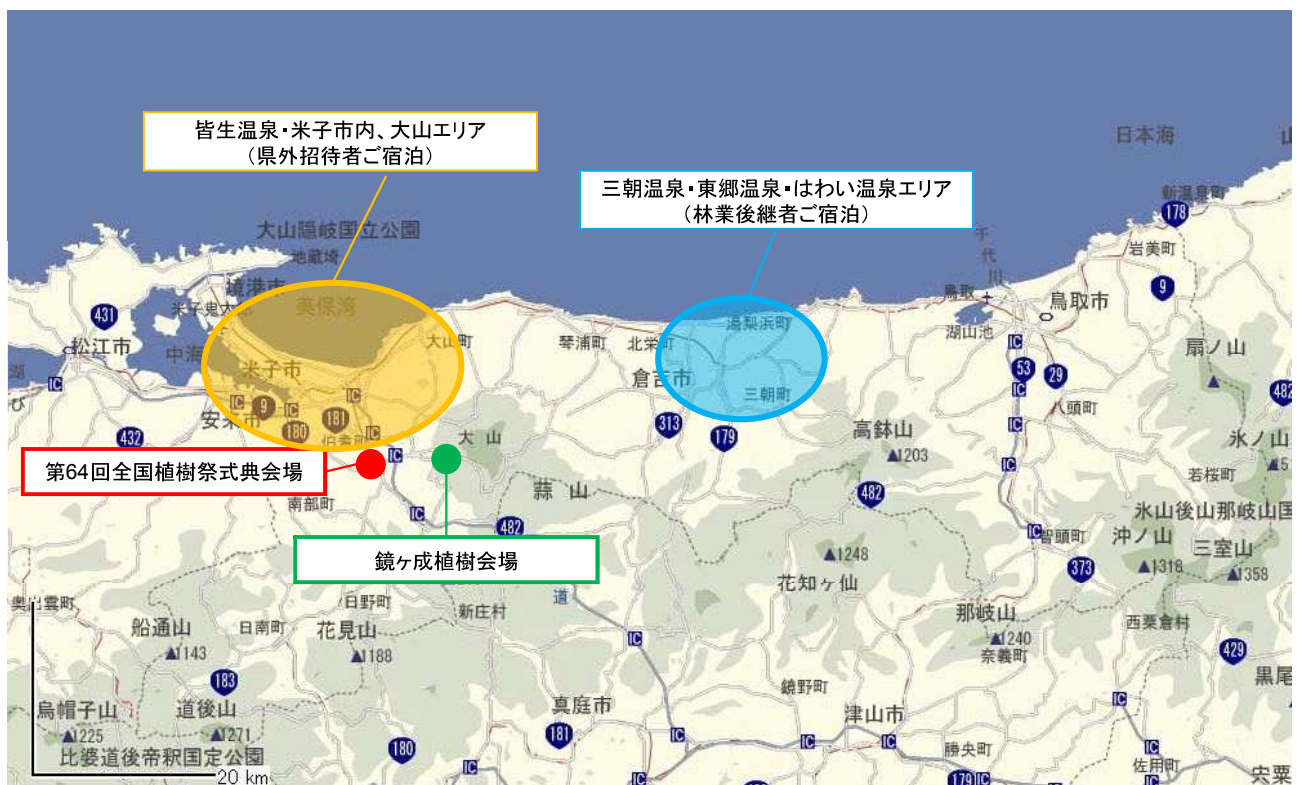
招待者の宿泊施設は、交通の利便性や快適性等を考慮して、実行委員会が指定します。

### (1) 宿泊施設の選定

- (ア) 県外招待者の方には、鳥取の食材や自然・文化・歴史等とのふれあいが図られるよう「おもてなしの心」を持つ宿泊施設にご宿泊いただきます。
- (イ) 開催行事会場やスケジュール、道路状況やアクセス等を総合的に鑑みた宿泊エリア・宿泊施設を選定いたします。
- (ウ) フロントやロビー等宿泊施設内に専用ブースを設置いただき、招待者にお渡しする配布資料(植樹祭関連各種案内資料、行動計画表、IDカード、胸章、帽子等)を円滑に確実にお渡しできる体制を整備します。
- (エ) 館内はもとより、安全に計画輸送バスの乗降できる場所が確保できる宿泊施設を選定いたします。
- (オ) 消防法や食品安全衛生法等法令に基づく基準を満たすことは勿論、夜間緊急時等搬送できる救急病院や緊急対応担当者の有無、AED(自動体外式除細動器)の設置有無を事前に把握し、万が一の事故に備えます。

### (2) 宿泊候補地

- 林業後継者大会に参加される招待者は、会場が中部地区で予定されていることから、会場に近い「三朝温泉」、「東郷温泉」、「はわい温泉」に原則、宿泊いただきます。
- 上記以外の式典参加者は、原則「皆生温泉、米子、大山地区」に宿泊いただきます。



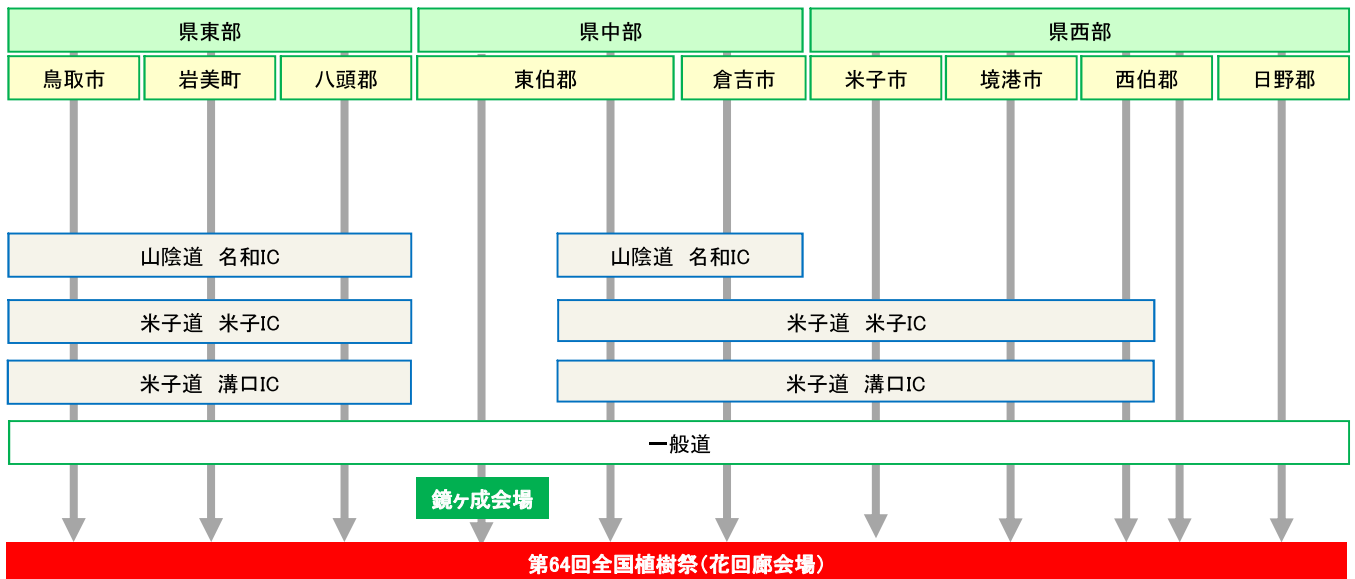
### 3 輸送計画

#### (1) 参加者ごとの輸送方針

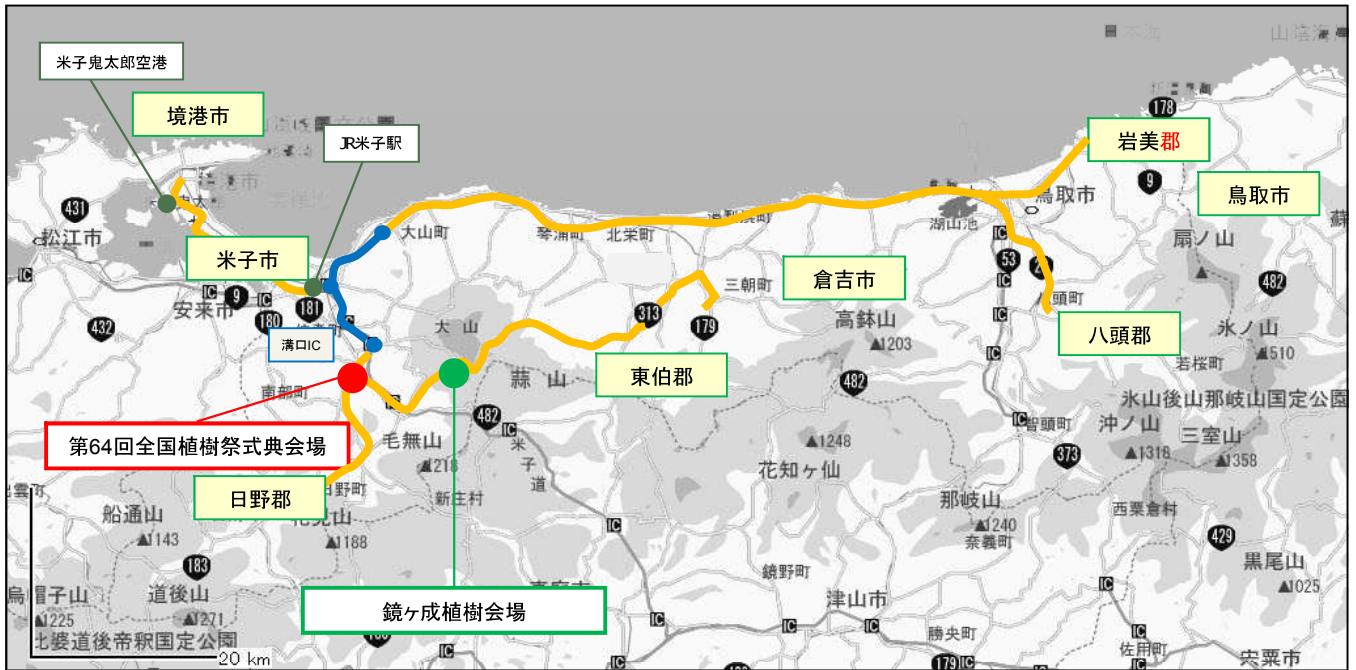
- (ア) 式典当日の道路混雑状況等のリスクを想定し、極力移動時間がかからない最短ルートを設定します。
- (イ) 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、万が一の場合の代替ルートや迂回ルートの設定を行います。
- (ウ) 参加者等の安全で円滑な輸送を行うため、仮輸送計画(シミュレーション)を策定し、バス事業者、関係機関と協議・検討のうえ、運行ルートを設定します。

#### (2) 輸送フロー

招待者は、各宿泊施設又は、予め指定された集合地において、主催者の準備した車両を利用し、会場に向かいます。



(3) 輸送ルート(往路・復路)



(4) 関係車両一覧

参加者区分	輸送手段	台数	同乗者	備考
中央特別招待者	ハイヤー等	30台	接待員	
県外招待者	計画輸送バス	50台	添乗員	各種案内・誘導
県内招待者	計画輸送バス等	119台	添乗員	各種案内・誘導
協力員 (実施本部員・協力員・出演者・出展者等)	計画輸送バス等	47台	担当班員等	※出展者等搬出入を伴う場合はトラックを手配
計	ハイヤー等乗用車 計画輸送バス	30台 216台		

(5) 駐車場計画

○駐車場は、道路交通事情も考慮し、会場の隣接地、または近傍地から選定し、一時的に確保します。

(ア) 駐車場候補地一覧

区分	駐車場名	種別	台数	備考
県内・県外招待者	候補地一覧(P40)を参照	バス	169台	植樹地で招待者降車後空バスで駐車場へ移動
協力員等	候補地一覧(P40)を参照	バス	未定	花回廊内にて降車後、駐車場へ移動
	未定	乗用車等	未定	
出展者等	未定	乗用車等	未定	

(イ) バス駐車場候補地一覧

番号	名称	場所	会場からの距離
1	米子港駐車場	米子港	バスで約30分
2	大山楨原駐車場	大山山麓	バスで約30分

(ウ) 駐車場候補地 位置図



1. 米子港駐車場 位置図



2. 大山楨原駐車場 位置図





(6) 運行管理体制・緊急時対応

- 式典会場周辺に輸送管理本部を設置し、運行状況の管理を一元的に行います。
- 植樹祭参加車両の運行状況を把握し、安全で円滑な運行体制を実現するため、輸送ルート上にチェックポイント、休憩所、バス運行調整地を設置し、それぞれ係員を配置し、携帯電話や無線機等によりリアルタイムの連絡体制を確保します。

① 休憩所、チェックポイント、調整地

- ・休憩所  
輸送時間が60分を超える場合に、休憩所でトイレ休憩をとります。
- ・チェックポイント  
通過車両を確認し、運行状況の把握、緊急時の対応等を行います。
- ・調整地  
会場内への車両の入り込みを円滑に進めるため、係員が輸送バスの車両確認を行い、車両区分ごとに会場に出発させます。

② 指定集合地

県内招待者の集合地として、県の総合事務所・市町村役場等の大型駐車場を県内各地に指定し効率的な輸送を行います。

(7) 道路交通対策

- 式典会場及び植樹会場周辺の道路や植樹祭招待者の輸送ルートにあたる道路については、事前に道路管理者と協議の上、道路工事や道路占用許可等の必要な措置を講じます。
- 交通対策については、植樹祭招待者及び周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。

## 4 視察計画

(1) 基本的な考え方

- 鳥取県の森林・林業や木材産業に対する理解を深めるとともに、鳥取県の魅力を十分伝えられるような観光コースを設定します。
- 価格設定やコース設定など、参加者のニーズを捉えた内容で参加率を高め、観光振興も図ります。参加された方に、鳥取県が持つ様々な魅力・豊富な恵みを実感していただくことにより、『リピーター』になって頂き、全国で鳥取県をPRしていただけることを目指します。

(2) 主な視察候補地

エリア	
東部エリア	白兔神社・白兔海岸、仁風閣、智頭町森林セラピー体験、鳥取砂丘、山陰海岸ジオパーク
中部エリア	三徳山三仏寺『投入堂』、倉吉白壁土蔵群、鳥取二十世紀梨記念館、中国庭園『燕趙園』
西部エリア	とっとり花回廊、榎水高原、大山寺周辺、植田正治写真美術館、大山ブナ森ウォーキング、境港、水木しげるロード、妻木晩田遺跡、上淀廃寺跡